宇工高同窓会々報

発行者
宇都宮工業高等学校
同窓会事務局
宇都宮市雀宮町52番地
電話（028）678-6500

会員の皆様へ

会長　岡田義治

同窓会々員の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

同窓会は、旧宇工高跡地・京町（栃木県特別支援学校宇都宮青葉高等学園の敷地内）に記念碑「発祥の地」を建設しました。竣工の除幕式（平成28年2月20日）には栃木県知事、同窓会顧問、参与、役員が出席し、県、宇都宮青葉高等学園、工事関係者等をお招きして除幕に至る経緯を説明し、あわせて宇都宮青葉高等学園の見学を行いました。

同窓会総会では平成25年度の記念碑計画（案）の発表以来、26年から27年度に慎重な検討をお願いし、多様なご意見を頂き、役員会でも慎重に検討してきた結果が実を結びました。折しも、東日本大震災のあと、オリンピックの招致、建設物価の高騰が止まない不安定な経済状況のもと、建設会社の方々には深く感謝を申し上げたいと思います。

「発祥の地」の経緯については、すでに宇工高同窓会報（平成28年2月29日号）に書かせて頂いておりますが、旧宇工高のロータリをイメージしています。

本校が昭和33年火災にあい、昭和43年に校舎増改築落成記念に建立したもの（知事・横川信夫氏の揮毫）と、本校OBとして県政の歴史上はじめて栃木県知事になった福田富一氏の揮毫による記念碑を掲げてあります。ほかに、在学中に自らを奮いたたせてくれた校歌の歌詞と楽譜を石に刻んであります。また、通学時には気にも留めなかった校門に掲げられた「県立宇都宮工業高等学校」の文字は、北門、西門、東門の全てを嵌め込んであります。

その他、設計図や工事写真等、記念になる様な全てを「定礎」箱に格納してあります。

このような宇工の姿や形を繋いでいくことが望まれますが、幸い、青葉高等学園の生徒達が職員の指導にしたがって語り継いでくれる、と言っていますので安心しています。

一方、宇工の卒業生諸君も、この記念碑に意識を持ち続けて対峙して頂き、末長い対応をお願いしたいと思います。

歴史を大切にすることは重要な事、と古今東西の人が話して止みません。そのことに注目して語り継ぎたいと思います。

今年も大活躍

校長　池守滋

本校同窓会の皆様には、在校生に対しまして、多くのご支援をいただきまして、心から感謝申し上げます。

本校の生徒は、将来、職場の中核的人材として、本県はもちろん我が国の工業界を支える人材となることが期待されております。文部科学省の「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」の研究指定も二年目となり、全国に先駆けて、様々な先端的な教育を実施しているところです。

今年も宇工生が多方面で全国的な活躍をしました。運動部関係では、春の栃木県高校総合体育大会から始まり、厳しい県大会を勝ち抜き関東大会に多くの宇工生が出場を果たしました。夏の全国高校総合体育大会にバスケットボール、ソフトテニス、水泳の各部が見事出場いたしました。国体でも、水泳に高橋航希さん（電子機械科2年）が連続出場しました。特に、9月に開催されました関東高校弓道個人選手権選抜大会において、吉田恭平さん（機械科2年）が見事に優勝しました。さらに、バスケットボール部は、2年連続で全国高校バスケットボール選抜優勝大会に出場を果たしました。文化部においても、音楽部が東関東吹奏楽コンクールに連続出場しました。また、本校の特色でもあるものづくり分野でも、関東高校生ものづくりコンテストには、木材加工・測量部門に県代表として出場しました。さらに、山形県で開催された技能五輪全国大会に、配管部門で碇尚也さんと川合健太郎さん（環境設備科3年）が、建築大工部門で女子生徒として初めて安藤綾音さん（建築デザイン科3年）が出場しました。特に、碇さんは本県高校生として初めて入賞を果たし、来年の本県開催の大会において活躍が大変楽しみです。定時制でも、夏の全国定通制高校総合体育大会に、陸上競技、バドミントンで県代表として出場しました。さらに多くの宇工生が栃木県から全国に向け活躍することを期待しています。

3年生の進路に関しましても、これまでの多くの先輩諸氏によるご尽力によりまして、就職希望者については、地元企業や県内の大企業を中心に10月末には大部分の生徒が内定をいただきました。さらに、公務員希望者も含め、今年も無事に就職内定率100％を達成しております。また、進学に関しましても、筑波大・東京学芸大・信州大・東京海洋大など国公立大学に11名、明治大や芝浦工大など私立大学に62名が合格し、専修学校等も東京や県内の各校から合格をいただきました。

今後とも、様々な分野で活躍でき、次の時代を支える人材の育成に学校全体として取り組んで参りますので、一層のご支援をお願いいたします。

定時制と給食

定時制課程　教頭
近藤　正

学校給食というと小学校や中学校を思い浮かべる方も多いと思いますが、定時制高校にも給食の時間があります。

定時制高校の給食はお昼の時間帯ではなくて、宇工定時制では、1時間目が終了する午後6時5分から始まります。日中働いている者も多い定時制生徒のために夕食を提供しているのです。

メニューも栄養のバランスが考えられている上に、多彩でおいしいです。例えば、クリスマスが近づくとクリスマスメニューとしてチキンやケーキの献立です。一学期の終業式の前には鰻丼がでました。ラーメンやハンバーガーがでることもあります。これらが限られた予算の中で提供されるのですから、栄養士さんのご尽力には感謝です。

また、主食はご飯がメインですが、これが麦が混ざったご飯です。近頃麦飯を食べる機会は減ったと思いますが、これも栄養のバランスを考えてのことかと思います。

宇工の食堂は正門を入ってすぐに目につく2階のガラス張りの部屋です。春や秋には食堂の目の前を夕日を浴びた新幹線が走り去るのを眺めることができます。なかなかの絶景です。

生徒たちは思い思いのグループで給食を楽しんでいます。定時制の職員も生徒に混じりながら給食を頂くので、自然とコミュニケーションの輪が広がります。「同じ釜の飯を喰う」という表現がありますが、まさに同じ時間を共有した者同士が同じ献立を食べています。

第54回技能五輪全国大会「建築大工」職種に出場して

建築デザイン科
顧問　粂川勝巳
黒﨑利之

平成28年10月21日（金）から24日（月）の日程で、山形県寒河江市市民体育館において、第54回技能五輪全国大会「建築大工」職種が開催されました。「建築大工」職種では86名の各県代表者が集まり、高度な技術を競い合いました。本校からは、建築デザイン科3年安藤綾音さんが、栃木県代表としては初の女子高校生として競技に参加しました。

大会本番前は、たいへん緊張していましたが、競技が開始されると、機敏な動きで順調に課題を仕上げていきました。そして11時間45分ある競技時間を目一杯使い、最高の作品を仕上げることができました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、本職の大工でさえ、最後まで完成させることができない者がいる中、時間内に完成させることができたことは、日頃のきびしい練習の成果が発揮された結果であります。

本人の感想では、「競技前は、会場の雰囲気に圧倒されましたが、競技中はとにかく無心で作業をしました。時間内に完成して大変嬉しかったです。来年もぜひ出場して入賞を狙いたいです」と、大会中の気持ちと次年度の栃木県大会に向けての意気込みを語ってくれました。今後は安藤さんの後輩たちが、先輩を見習って頑張ってくれることを願います。

関東大会に出場して

バレーボール部
顧問　加藤勇次

バレーボール部は、関東大会出場を目標に日々練習しています。今年度の関東大会県予選会において第3位になり、上位4チームが出場できる関東大会の切符を見事勝ち取りました。本校としては2年連続で出場することができました。本大会は山梨県で行われ、対戦相手は地元の甲府工業でした。地元の声援に圧倒されながらも生徒たちは一生懸命プレーしましたが、少しのミスが決めてとなり、惜しくも負けてしまいました。他県のレベルの高さを思い知った大会となりました。

しかし、関東大会という大きな舞台で堂々とプレーできたということは選手たちにとって良い経験になったと思います。後輩たちにはこの悔しい思いをバネに、これからの練習に励み、関東大会で勝利できるように頑張ってもらいたいと思います。

関東大会出場

ボクシング部　顧問　福田　聡

このほどボクシング部は平成29年1月26日から開催される第5回関東高等学校ボクシング選手権大会に参加することになりました。電気科2年の鈴木豪太君がバンタム級で参加します。ボクシングは減量するスポーツのように思えますが、身長が伸びた鈴木君は筋力の増強を図り、ピン級から階級を2つ上げ、バンタム級で県大会優勝を果たしました。

バンタム級は選手層が厚いため、県大会でも苦戦を強いられました。1回戦で作新の選手との対戦カードを引いてしまい、監督のくじ運の悪さを痛感いたしました。試合が始まると作新学院の選手はスピードもあり、パンチ力もありました。一方的に攻撃される場面もありましたが、少ないチャンスを見逃さずポイントを蓄積して、2対1の判定で勝利しました。

宇都宮工業高校のボクシング部は伝統があり、オリンピック選手も輩出した名門の部活です。大河原賢祐コーチも全日本選手権で優勝した経歴の持ち主です。伝統校復活を遂げ輝かしい成果を出せるように、選手、顧問、コーチ、マネージャーが協力して、関東大会に臨みたいと思います。応援よろしくお願いします。

全国高等学校定時制通信制バドミントン大会に出場して

バドミントン部　顧問　佐々木　晃一

本年度の栃木県高等学校定時制通信制総合体育大会（6月18日）では、男子シングルスにおいて、1年竹花敬志朗君が準優勝、1年松井宏樹君が3位となり全国大会出場が決定しました。放課後の部活動のほか、他校との合同練習会などにも参加しました。そして、向かえた全国大会（8月17日～20日）では、竹花敬志朗君が男子シングルス、団体戦、松井宏樹君が団体戦に出場しましたが、男子シングルス1回戦敗退、団体戦2回戦敗退と思うような成績は残すことができませんでした。悔しい思いを忘れず練習に励み、栃木県高等学校定時制通信制秋季大会（10月22日）では、男子シングルスで松井宏樹君が優勝、竹花敬志朗君が準優勝となることができました。

定時制課程では放課後にとれる練習時間はとても少なく、部員も6名と少ない中での本年度の大会成績は、部員同士が集中して練習に取り組めた成果であったと思います。

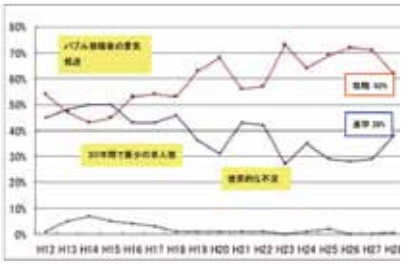
日頃の活動を応援してくださっている先生方、保護者の皆様には感謝申し上げます。

平成二十八年度の進路

進路指導部長　穐本　亮一

一　はじめに

本校が科学技術高校になり4回目の卒業生となる平成28年度の3年生の進路状況は就職者と進学者の割合がそれぞれ62％と38％と、昨年度の72％と28％に比べ進学者の数が大幅に増加しています。大学等の上級学校に進学して、さらに知識や技能を身に付けたいという生徒・保護者が増えたようです。

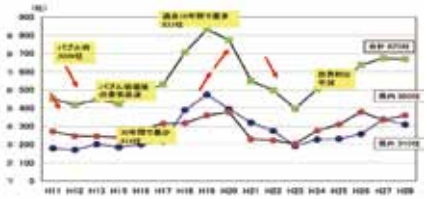


最近の進路状況の変化

二　就職

就職では、民間企業187名（県内就職136名、県外就職51名）、公務員10名の合計197名が内定しています。それぞれの「科・コース」で学んだ事や資格を活かせる仕事を希望する生徒が多く、科学技術高校としての特色を活かした就職先となっているのが特徴です。

今年度の求人社数は、670社（県内社360、県外310社）でした。業種別に見ると建設・土木関連会社の求人が増えています。



求人社数の推移

三　進学

進学に関しては、国公立大学11名、私立大学61名、短期大学1名、大学校・専門学校等39名の合計112名の進学が決定しています。国立大学では、宇都宮大学（3）、群馬大学、長岡技術科学大学（3）、東京学芸大学、東京海洋大学、筑波大学、信州大学に合計11名の合格者を出すことができました。ほとんどがAO入試や推薦入試による進学ですが、高校時代に身につけた知識や部活動など学校生活の実績、大学で学ぶ目的意識などを問われる入試が多く一般入試よりもむしろ難しい大学もあります。なお今年度は一般入試に挑戦する生徒もおり、健闘を祈りたいと思います。

平成27年度収支決算報告

（1）一般会計

収入金　4,786,656円
支出金　3,654,221円
残　金　1,132,435円

自　平成27年4月1日
至　平成28年3月31日

■収入の部　（単位：円）

科目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	1,121,392	1,121,392	0	
永久会員費	3,500,000	3,500,000	0	全10,000×320人=3,200,000 定10,000×　30人=　300,000
雑収入	0	165,264	165,264	一般会計利子、総会参加者会費
計	4,621,392	4,786,656	165,264	

■支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	600,000	601,002	1,002	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	200,000	146,668	△53,332	名簿管理費、通信費、一般備品
渉外費	100,000	86,164	△13,836	母校歓送迎会寸志等
事業費	1,500,000	974,857	△525,143	卒業記念品、同窓会報、餞別金、部活動補助、同窓会長賞、同窓会奨励賞等
教育活動後援費	300,000	300,000	0	教育活動後援費
慶弔・慶祝費	200,000	23,000	△177,000	栃木県文化功労者受賞お祝い花束等
同窓会ＨＰ管理費	100,000	22,530	△77,470	ＨＰ更新料、サーバー費
予備費	121,392	0	△121,392	
借入金返済	1,500,000	1,500,000	0	基金（足利銀行）へ返済
計	4,621,392	3,654,221	△967,171	

（2）その他

①基金　（単位：円）

基金合計	９１，１９２，２０１		
金融機関名	栃木銀行 22,620,081	足利銀行 48,572,120	日光杉並木基金 20,000,000

宇工高発祥の地　記念碑工事代として820万8,000円を基本から支出

監査報告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成28年4月14日　　会計監査

平成28年度予算（案）

（1）一般会計

収入金　4,562,435円
支出金　4,562,435円
残　金　0円

自　平成28年4月1日
至　平成29年3月31日

■収入の部　（単位：円）

科目	27年度予算額	28年度予算額	増減	備考
繰越金	1,121,392	1,132,435	11,043	
永久会員費	3,500,000	3,430,000	△70,000	全10,000×320人=3,200,000 定10,000×　23人=　230,000
雑収入	0	0	0	一般会計利子
計	4,621,392	4,562,435	△58,957	

■支出の部

科目	27年度予算額	28年度予算額	増減	備考
会議費	600,000	600,000	0	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	200,000	200,000	0	名簿管理費、通信費、一般備品
渉外費	100,000	100,000	0	母校歓送迎会寸志等
事業費	1,500,000	1,200,000	△300,000	卒業記念品、同窓会報、餞別金、部活動補助、同窓会長賞、同窓会奨励賞等
教育活動後援費	300,000	300,000	0	教育活動後援費
慶弔・慶祝費	200,000	100,000	△100,000	各種受賞お祝い等
同窓会HP管理費	100,000	100,000	0	ＨＰ更新料、サーバー費
予備費	121,392	462,435	341,043	
借入金返済	1,500,000	1,500,000	0	基金（足利銀行）に返済
計	4,621,392	4,562,435	△58,957	

（2）その他

①基金　（単位：円）

基金合計	９２，６９２，２０１		
金融機関名	栃木銀行 22,620,081	足利銀行 50,072,120	日光杉並木基金 20,000,000

同窓会定期総会報告

平成28年度定期総会は、平成28年5月28日（土）、ホテルニューイタヤで開催しました。

会の冒頭、昨年2月に完成した発祥の地記念碑について会長より報告があり、記念碑建立に尽力いただきました顧問の福田富一様、板橋一好様、記念碑の建立と石碑等を管理・保管いただきました福宮建設株式会社福田二一様に、感謝状贈呈を行いました。次に、技能五輪出場選手への工具や材料費等の支援について了承いただきました。最後に、会則の改定について審議いただきました。

平成27年度決算報告及び平成28年度予算案を掲載しましたのでご覧ください。

同窓会事務局の動向

電子情報科の髙松秀和先生・環境土木科菊池正典先生が那須清峰高に、環境設備科の平野邦比己先生が足工高へ異動されました。

4月には電気科に齋藤浩二先生が、環境設備科に阿部あゆみ先生・加藤勇次先生・菊池千春先生が、環境土木科に今井修造先生が赴任され、宇工出身の教職員は26名になりました。

同窓会長賞・奨励賞

同窓会長賞を第54回技能五輪全国大会配管職種に出場し敢闘賞に入賞した環境設備科3年碇尚也君に、同窓会奨励賞をバスケットボール部、ソフトテニス部に授与しました。

訃報

本同窓会に多大な貢献をいただいた副会長の齊藤秀夫様が、昨年7月に父島において、不慮の事故により他界なされました。ご冥福をお祈りいたします。

平成28年度役員

会長	治男	義繁
副会長	文夫(逝去)	忠秀
〃	男造	泰林
〃	一久	弘智
〃	薫明	秀啓
〃	一好	一健
〃	蔵一	富和
監査	夫男	成光
〃	誠雄	
顧問	宏滋	政辰
〃	男男	良勇
〃	長雄	裕
〃	一	
〃	岡田	田田
〃	嶋田	口藤
〃	湯井	津井
〃	齊梅	井梶
〃	藤宇	亀和田
〃	今小	林井
参与	梅櫻	橋成
〃	藤板	田部
〃	宇吉	瀬藤
〃	亀福	塚島
〃	和阿	守尻
〃	猪伊	田平
〃	飯中	辺田
〃	池野	田
〃	亀和	
〃	小渡	
〃	蓮	

同窓会ホームページを開設しました。http://ukou-dousoukai-uths.jp